

プロ選手から基本動作を

89ERS選手がバスケットボール指導

ペガルト仙台スポーツ教室「バスケットボールクリニック（東北ハンドレッド・ペガルト仙台ホームタウン協議会主催）」が7月30、31日の2日間、登米総合体育館で行われました。

初日の教室には、市内の中学校13チームから、1、2年生のバスケットボール部員107人が参加。89ERSの仙台市出身、日下光、佐藤真哉、松田大地選手をはじめ、選手6人とコーチ陣が講師を務めました。



真剣なまなざしで選手からディフェンスの指導を受ける参加者

参加者は、6カ所に分かれて基本姿勢やボールハンドリング、ディフェンスなどを学習。ドリブルやシュートの技術に磨きかけました。また、クリニックに先立って行われたダンスレッスンは市内幼稚園・保育園の園児、小・中学生ら



ゲーム中に踊られるジンギスカンダンスを学びました

が参加。ゲーム中に踊られている「ジンギスカンダンス」を、89ERSチアーズやチームマスコットの「ティナ」と一緒に踊って楽しみました。2日目は公開練習の後、市バスケットボール協会と仙台スポーツリンクの主催で高校生や中学3年生を対象に教室を開催。選手との握手会やサイン会なども行われ、参加した生徒たちには貴重な夏休みの体験となりました。

市内で安全安心な出産を

お産学級教室で意見交換

市の医療環境について、市長と話し合う会が8月9日、市立佐沼病院のお産学級教室で開かれました。同教室に参加している親や病院職員、市民有志の「登米市の医療を考える会」の会員



助産師の指導でベビーマッサージをする参加者

ら約50人が参加。医師不足により、8月末に休止した産科や週2回程度の診療となった婦人科など、市立病院の診療体制の現状について活発な意見が交わされました。布施市長は「お産学級教室の拡充や産前・産後のケアなど、今できることを早急に取り組んでいきたい」と述べ、産科休止の経緯や医師確保に向けた取り組みなどを説明しました。

参加者は、産科の早期再開やお産学級教室の継続を要望。今後の対策として、市外の病院への通院バス確保や交通費の支給、各総合支所への助産師配置、無料妊婦健診票を市外でも使えるように提案しました。



市立病院の診療体制について意見が交わされました

歴史ある観光施設をPR

2007みやぎふるさとCM大賞撮影会



昭和30年代の給食を食べるシーンもありました

「2007みやぎふるさとCM大賞（東日本放送主催）」に出品する作品の撮影会が8月9日、旧登米高等尋常小学校（教育資料館）で行われました。作品は市で企画したものの

一つで、昭和初期ごろの小学校の学校生活をイメージ。子どもたちが「だるまさんが転んだ」で遊ぶシーンや、2階にある再現教室で、昭和30年代の給食（クジラの竜田揚げ、カレーシチュー、コッペパンなど）を食べるシーンなどを撮影しました。

出演した渡邊菜摘さん（東郷小6年）は、「昔の給食を食べることができてうれしかった。撮影もとても楽しかったです」と話していました。なお、「広報とめ7月号」でも掲載しましたが、市ではCM大賞の応募作品を募集しています。詳しくは電話でお問い合わせください。



昔の遊びを現代の子どもたちが撮影で再現

問い合わせ 総務部市長公室 02220(22)2090

筒菜で長沼の水をきれい

長沼「水環境フェア」はすまっぴり

長沼や長沼川の水質浄化活動のPRと、特産品の筒菜を紹介するため、長沼・水環境フェア（長沼野菜いかだの会主催）が8月5日、長沼親水公園で開催されました。会場には、水辺環境保全活動として、長沼や長沼川の水質浄化に取り組んでいる同会、長沼川を考える会などの活動状況を、写真やパネルで紹介する展示コーナーを設置。筒菜の水耕栽培で、湖面に浮か

べられたいかだも披露されました。同会の千葉徳郎会長は「ここ数年、長沼の水質悪化が問われているが、わたしたちの活動で沼の水が少しでもきれいになることを願っている。また、筒菜は一般家庭での認知度が低いので、もっと普及してもらえればうれしい」と話していました。

特売所では、茶わん蒸しや天ぷらなど、20種類以上の料理ができる筒菜のほか、カボチャやトマトなどの新鮮な野菜を販売。試食コーナーでは筒菜を使った郷土料理のはつと汁が無料で振る舞われ、多くの人でにぎわいました。また、会場では「長沼はすまっぴり」も開催中で、市内外から多くの家族連れなどの観光客が来場。遊覧船からフートピア公園にあるオランダ風車を背景に、沼一面に咲いた桃色の花を満喫しました。



会場には水質浄化活動の写真やパネルを展示



筒菜や地場産品の野菜を買い求める来場者



家族連れでにぎわった「はすまっぴり」の遊覧船